麻生区ジュニアサッカー連盟事業報告書

提出日　2017 年　6 月　21 日

事業名　麻生区 TCU-12 TR
報告者　早川　慎太朗(南百合丘 SC)
開催日　2017 年　６月　１７日（土）10：00～17：30
会　場　等々力第一サッカー場＆第 2 サッカー場
参　加　選手 18 名（FP16 名・GK2 名。）
　スタッフ６名　佐藤(和光)、安藤（百合ヶ丘）、小谷、大河原（FC 王禅寺）遠藤（真福寺 FC）、早川(南百合丘)、

実施状況
第 10 回フロンターレカップ
〔予選リーグ〕
VS 川崎市少女　　13－0（新堀４、谷４、美濃３、諸墨１、戸村１）
VS 高津区　　4－1（美濃１、新堀 1、元木１、三浦１）→1 位リーグ進出
〔1 位リーグ〕
VS 川崎区　　5－0（三浦３、美濃１、谷 1）
VS 川崎フロンターレ　4－2（元木２、三浦２）　　→優勝（9 年ぶり 2 回目）
学校行事と重なり、最初は 10 人で行いましたが、その後は全員そろい、前後半総入れ替え制で行いました。
今大会では、継続して行ってきた「止める・蹴る」、前回の TR の課題でもあった「守備」にねらいを持ち、臨みました。
「止める・蹴る」に関しては、技術的に個人差はあるものの、意識して行うことができた。体格差のある相手に対しても相手を観ながら判断する場面も見られた。しかし、疲れた時間帯やうまい相手に対して、急いでしまって判断をせずにプレーをしてしまう。焦ってプレーをしてしまう場面もあり、今後も継続して行っていく必要がある。
「守備」関して、前回の TR の課題を踏まえ、選手も意識して取り組むことができた。特にボール保持者へのプレッシャーを意識して行うことができたが、距離間に関してチームや個人によって、違いがあり、今後も継続して行っていく必要がある。
全体を通して、蹴りあいだけにならず、ボールを扱いながらゴーに向かうことができた。昨年から取り組んできた「止める」「蹴る」が少し成果として出たが、まだまだ、個人差もあり今後も継続して「止める」「蹴る」を継続して行っていきたい。
特記事項/申し送り事項
・次回は６月２３日（金）（フロンターレカップ参加メンバー以外）
６月３０日（金）若葉台カップ参加メンバー